



## 「ふるさとの先人に学ぶ教育の推進」について（平成 21 年 6 月定例会）

郷土出身の先人の生き方や業績を活かした教育活動の展開として、没後 150 年を迎える吉田松陰先生について、県下全ての学校でその生き方や業績等を題材に、授業や教育活動を通じ、様々な取り組みを行うなどとされています。

先日、徳山小学校を訪問し、めいほうタイムの朗唱風景を見学させていただきました。めいほうタイムの「めいほう」は、この徳山小学校の前身である「鳴鳳館」からとったもので、224 年前の天明 5 年、藩校が開設された時の思いが、今も尚、こうして引き継がれていることの重さを実感いたしました。

こうした歴史と伝統を重んじる学舎で育っている子ども達は、愛校精神が強く、学ぶ姿勢や挨拶もとても素晴らしく、様々な場面で驚かされることが沢山あり、同時に大きな感動を覚えました。

この「めいほうタイム」では、松陰先生の言葉だけでなく、周南市出身のまどみちおさんや、児玉源太郎さんの詩、また、山口県出身の金子みすずさんや、中原中也さんの詩のほか、福沢諭吉の「学問のすすめ」や、清少納言の「枕草子」などが入ったこの 2 冊の素読集を 6 年かけて暗唱し、学期末の全校集会では、学年ごとに発表をされるそうです。

明治維新に大きな影響を与えた吉田松陰先生について、県下の学校で、具体的にはどのような教材を使い、どのような手法で、どのような点を優れた生き方として教えていけるのでしょうか。

例えば、先程事例にあげました徳山小学校や明倫小学校の朗唱などを県下の学校に広げようとしているのでしょうか、お尋ねいたします。

### 【教育長答弁】

今後、郷土の伝統や文化に対する関心や理解を深め、それを尊重し、継承・発展させる態度を育成することが重要であります。

本年は、吉田松陰先生の没後 150 年の節目にあたる年でもありますことから、お示

しの「ふるさとの先人に学ぶ教育の推進」を掲げたところであります。

お尋ねの今後の取組につきましては、例えば、吉田松陰先生の一人ひとりのよさを認め可能性を伸ばそうとした姿勢、時代をとらえる先見性やチャレンジ精神などにつきまして、校長講話、社会科や道徳の授業、また、ゆかりの地をたずねる校外学習などを通じて学ぶことができると考えております。

また、そのための教材として、各学校では、県教委が提供しておりますウェブページの「知っちょる！？やまぐち」、そして、先人の生き方に学ぶ「夢チャレンジきらり山口人物伝」、さらには、小学校の社会科の副教材であります「きょうど山口」などの活用を考えております。

県教委では、今後、お示しのありました活動事例も含めまして、こうした各学校の取組が県下に一層広がるように、本県が誇ります伝統や文化などを学習するための教材集を作成しまして、子どもたちの発達段階や地域の実情を踏まえた、各学校の創意ある教育活動が展開されるよう支援をしてまいります。